



豊前のおしごと 親子de体験隊

取材先 ▶ 一般社団法人 豊前観光まちづくり協会

豊前市在住の親子記者が、市内の様々な企業や団体等を取材した記事を掲載する同コーナー。4回目は、藤本 美樹さん・清愛（せいら）ちゃん親子です。



豊前市のことならココに！ 地元の“スーパー案内人”に聞いてみた

今回私たち親子は、豊前市のまち情報を発信し、さらにまちづくりをサポートしている「一般社団法人 豊前観光まちづくり協会」を取材。同事務所は、旧工場をリノベーションした「ZigZag」2階にありました。観光案内以外でどんな取組をしているのか、正直今まで考えたことがなかったのですが、いろんな新しい取組について聞くことができましたよ！



フリースペース「KITEN（きてん）」内で営業中の「宇島駅前KITEN古着屋 REVELOP（レヴェロップ）」。同協会が、場所提供などで若い起業家を応援。

無人の際は
会計箱に
入金を！

案内人：横川 隆行さん
豊前観光まちづくり協会 事務局長



豊前市の観光PRに努め、地域の活性化を応援する同事務局。「もっと地元の魅力を知ってほしい」と横川さん。

気になる “キッチンカー部会”

新しい切り口の企画にも取り組んでいる同協会。その1つが“キッチンカー部会”。

キッチンカーの取りまとめをし、市内近郊でのイベント出店を呼びかけているそうです。

キッチンカーでまちがもっと賑わうといいですね。



▲JR宇島駅構内の案内所には特産品販売や自転車レンタルあり

普段できない体験ができる♪

同協会では、市民参加型の体験プログラム「ぶぜん、みたいけん！」を企画。今秋の企画で私たちが気になったのは、地元の湧き水で作る「豊前湧水菓（実施済）」。この企画、お勧めです（最新情報はHP参照）。



SDGs 見つけた！

豊前観光まちづくり協会が行っているさまざまな活動を知りたいへんよい機会でした。

ZigZagのスペースは資産の再活用に加え、新しい地域の魅力が生まれるエンタメ・ワークスペースであることが実感できました。

KITENなどでの取組も、新しい仕事の機会を創出し、市内を彩（いろど）っています。

「ぶぜん、みたいけん！」では、魅力的な体験プログラムにあふれていて、どれも新たな発見ができますね。

取材協力 (株) ニコン日総プライム NNPシリーズSDGs連載担当
水谷洋司・角田雅信・岩崎裕子・宮川清希・二塚正明

■取材を希望される企業・団体および取材について記事を書いてみたい親子記者を募集中。

取材先の SDGsポイント！



ポイント① SDGs目標8 働きがいも経済成長も
★地域の魅力発信への情熱から新しいビジネスを生む



ポイント② SDGs目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
★地域インフラの再活用による持続可能な産業推進



ポイント③ SDGs目標12 つくる責任つかう責任
★地元の産品販促につながる持続可能な消費と生産

Check Point

取材協力 一般社団法人 豊前観光まちづくり協会
(☎ 0979-53-6660)
<http://www.buzen-kk.jp/index.html>

撮影 Juri (Instagram @juri0_902)

※撮影中の様子は「おしごとパレット」のInstagramにて公開中 (@oshigotopalette)

